

小倉第2雨水貯留施設が28年3月末に完成します！



近年の異常気象により、頻発している豪雨による浸水被害を未然に防ぐ目的で、26年9月から工事が始まっていたふれあい文化センター駐車場の地下の雨水貯留施設が、来年3月に完成する。総事業費は約10億3600万円の見込み、貯留できる水の量は約1万5千トンで、これによって市北部の浸水防止に大きく寄与することになる。

9月に発生した常総市の堤防決壊による甚大な豪雨災害は、記憶に新しい出来事である。想定を超える自然の猛威に対する備えは、万全の上に万全を重ねて行かなければならない。市民の皆様の生命と財産を守ることは行政の重大な責務である。

第3回（9月）定例会は9月1日に招集され、9月25日までの25日間の会期で開催され、23議案並びに1請願、2意見書などを審議しました。

平成26年度 一般会計決算認定

「決算審査特別委員会」が設置され、26年度一般会計の決算審査が行われた。

歳入決算額327億1086万9千円に対し、歳出決算額317億3177万7千円であり、歳入歳出差引額は9億7909万2千円。これから27年度に繰り越した分を差し引いた実質収支は6億4849万6千円の黒字となった。

歳入の収入増を上回るペースで、扶助費や繰出金などの歳出が増えていくが、今後も持続可能な財政運営に努力してほしいと要望し、賛成多数で認定した。

一般会計補正予算 1億8762万円増

土曜日の教育活動推進事業

「まなびや 春日」

学習の節目ごとに理解に課題を抱える児童に対し、土曜日を活用して復習中心の補充学習を行うことにより、基礎基本および学習習慣の定

着化を図ることを目的にモデル事業として小学校4校で始まることになった。

- 教科 国語・算数
- 対象学年 4年生～6年生
- 実施時間 土曜日の午前中を想定
- 実施回数 月2回程度
- 実施期間 27年10月～28年3月
- 事業費 124万6千円（国県の補助率3分の2）

公私連携型保育所を 導入予定

公私連携型保育所とは、民設民営の保育所でありながらも法律に基づく市町村の関与が可能となる新たな保育所の運営形態である。公私連携保育法人は、市町村の指定を受けて公私連携型保育所を設置・運営する。

メリットは、①施設整備に対し補助基本額の2分の1は、国の交付金または補助金が受けられる②公定価格（運営費）から保育料徴収基準額を控除した額の4分の3は、国・県が負担する③公立保育所に準じた運営をさせることが可能となる。